

## 第5回白河市複合施設整備基本計画検討懇談会 議事録

- 1 日 時 令和2年7月7日（火）13:30～15:00
- 2 場 所 マイタウン白河 2階 中会議室3
- 3 出席者
  - 会 長：市岡 綾子 （日本大学工学部 専任講師）
  - 副会長：藤田 龍文 （株式会社楽市白河 取締役副社長（白河市中心市街地活性化協議会））
  - 委 員：石川 格子 （公募）
    - 金子 善弥 （白河市生涯学習推進会議 委員）
    - 君島 正信 （白河市地域活性化協議会等連絡調整会議 会長）
    - 鈴木 茂毅 （白河医師会 会長）
    - 鈴木 順子 （白河市子ども・子育て会議 委員）
    - 鳴島 あや子（白河市公民館運営審議会 副委員長）
  - 事務局：鈴石 市長公室長、深町 企画政策課長、仁平 地域拠点整備室長  
八巻 主任主査、関根 副主査
  - その他：（株）オリエンタルコンサルタンツ3人（山本、粟田、川村）
- 4 次 第
  1. 開 会
  2. 議 事
    - (1) 複合施設整備基本計画（案）について
    - (2) その他
  3. 閉 会

## <議事概要>

### 【会長】

久しぶりの集まりになりましたが、7月7日七夕という、貴重な思い出深い日に、またこうして皆さんとお会いできることになり、大変幸せに思っております。

では、本日は第5回目の懇談会ですが、事前に配付されております複合施設整備基本計画（案）について、検討いたします。

まず、議事の（1）複合施設整備基本計画（案）について、事務局より説明をお願いいたします。

### （1）複合施設整備基本計画（案）について

（資料1、資料2、資料3により事務局説明）

#### （事務局）

本来であれば第5回懇談会は4月28日に開催予定でしたが、ご案内のとおり、このコロナの関係で延期をしていたという経過がございます。計画（案）については、今までご議論いただいたものを汲み上げて、取りまとめた内容となっております。一方で、このコロナ禍の中で、今後、コロナ後の社会がどうなっていくのだろう、というふうなことを見据えた形で、計画に盛り込んでいくべきではないかと考えております。

コロナ後の社会を見据えた施設の在り様、というところを書き込んでいきたいと思いますが、まだご提示する素材も現時点だとならないものですから、改めて次回、第6回の検討懇談会で、再度、コロナ後の社会を見据えた施設の中身について、ご提示を差し上げたいと考えております。繰り返しになってしまうのですが、まず一旦は、これまでの議論を踏まえたものをご提示するわけなのですが、今後はコロナの関係のところの書き込み、というようなことを加えていきたい、というふうに考えております。

本日は、コンセプト案について意見を伺った後、計画（案）全体について意見を伺いますので、よろしく願いいたします。

### 【会長】

ありがとうございました。久しぶりの懇談会ですので、端折りながらも丁寧にご説明いただかないと分からない部分もあったかと思えます。本日は、施設のコンセプト案について意見を伺った後、資料1の計画（案）全体について意見を伺いたいということでした。まずは22ページにある整備コンセプト案について、ここで示している6案のうち、1案に絞るべく落としどころを見つけていくためにも、皆さんからご意見を賜りたく存じます。こちらについては、やはり市民の皆様の大事な施設に関する整備コンセプ

トの言葉を決める、ということですので、皆さんから色々ご意見を頂戴したいと思っております。どなたからでも構いませんので、ご意見のある方からお願いします。いかがでしょうか。

事務局も大変苦心されて、その場所に来ればみんなが笑顔になるというような、少し行動と時間の経過を含めた形の言葉を挙げておられますので、この6案は全て良い内容であると個人的には思いますが、皆さんはいかがでしょうか。

**【委員】**

私は1案がいいなと思って見ていたのですが、シンプルかつ分かりやすく、どの世代にも分かりやすいかな、というふうに感じたのと、あと最初にお話があったように、3～4テーマあるということで、「笑顔」と入っていれば、笑顔ができるということは、ほっとするスペースという意味合いも、全て備えてくるのかなと思ったので、シンプルなのもいいかなというふうに感じました。

**【会長】**

分かりました。ありがとうございます。

**【委員】**

この中で、カタカナがポイントになるとすれば、「オアシス」という言葉ですね。「オアシス」は砂漠の中の休憩所みたいなイメージがあって、「オアシス」という言葉が入るのには抵抗があります。「ほっとする」なのか、広場なのか、そういうような組み合わせがあるとすれば、1と2と3かな、というふうに考えています。

**【委員】**

私も1番がいいなと思います。「笑顔がつながる」で人とつながって健康であるということと、子育てなどもつながっているのではないかと思います。やはり私も「オアシス」というのは馴染まないというか、ほっとするスペースというよりは、広場のほうがいいのか、という感じがします。これを英語で何と言うか分からないのですが、例えば「笑顔に」とか「つながる」とか、パッと言えるようなものがあるといいと思っています。

**【委員】**

「みんなの笑顔」「みんなが笑顔」、微妙にニュアンスが違うのかなという気がして、私的には「みんなが笑顔」のほうがいいのか、という気がしました。「みんなが笑顔でつながるいきいきあんしん広場」という感じがいいと思います。

**【会長】**

「みんなの笑顔」か「みんなが笑顔」ということですね。

**【委員】**

「みんなが笑顔」と「みんなの笑顔」は微妙に違うのかなという感じがします。

**【会長】**

確かに「みんなが笑顔」のほうが主体的になりますよね。笑顔になることが主体的となり、より積極性が増す感じがいたします。「みんなの笑顔」と言うと、施設に来たら笑顔になるという感じがしますね。上手く体言止めにしたたり、あえて動詞で区切らない、というコンセプトの作り方もあるかもしれません。「つながる」が無くなってしまいますので、「みんなが笑顔 あんしん広場」とか、そのような感じでしょうか。

**【委員】**

「みんなが」にするとバランスが難しいですね。

**【会長】**

ご指摘の点が厳しくなるかと思えます。笑顔に対する思いは分かります。Smile（スマイル）というよりは、smiling（スマイリング）というイメージ、自然と笑顔になるというニュアンスだと、「みんなが笑顔」のほうがいいと皆様のご発言ですね。

他にはご意見いかがでしょうか。ここに挙げられた6案についても改めてご覧になり、前回から3ヶ月以上経って、新たにこのような発想がいいのではないか、というご意見はございませんか。また今は状況が変わってきていますので、政府による新しい生活様式を全て取り入れるかどうかは別にしても、考え方が変わらなければいけない状況にはなっていますので、もしかしたら少し言葉を変えたほうがいいとか、捉え方を変えたほうがいい、ということでも構いません。いかがでしょうか。

**【委員】**

良い話ではないかもしれませんが、ここを利用する人たちは、何か不安を持って利用する人も、中にはたくさんいると思うので、そもそも笑顔ではないところで、この施設を利用して、帰る時には笑顔になる、といったイメージで考えると、「みんなが笑顔」と言うと、最初から笑顔の人たちが来て、それが連鎖するというイメージがあるのですが、「笑顔がつながる」となると、もしかしたら帰る時に笑顔になって、この笑顔になって気持ちがつながっていく、みたいなイメージだと、コンセプトの言葉遣いを変えていいのかなと思います。

**【会長】**

色々な人が施設を訪れても、施設から出ていく時はみんなが笑顔ということですよ。委員のご発言は、どんな思いで来たとしても、出ていく時は「にこやか」なのか「ほっとする」のか、笑顔の度合いもあるかもしれませんが、下を向いていた人が少しは上を向いて空を眺めて帰ろう、という気持ちになれることだと思います。そう考えると「みんなの笑顔」と言うよりは「笑顔」と「みんな」を分けたほうが、そのような印象になる、というご意見でした。

**【委員】**

私も決められた6つの案なので、消去法で考えを書いたのですが、2と5に「いきいき」が入っていて、どうしても「いきいき」と言うと、高齢のイメージをしてしまいます。また、「オアシス」という言葉は、この施設にそぐわないと感じます。1か3ということになるのですが、私が前の会議で「みんなの」ということをお話したのは、利用者の世代を決められないようにしたい、というところだったのです。ですので、「みんなの笑顔」というよりは、「みんなの」は「ほっとスペース」に持って行って、「笑顔につながる みんなのほっとスペース」、みんなが利用できる「ほっとな」というのは良いと思います。温かいという意味もあるし、新しいというか、旬な、ほっとな、という感じで、私はこの「みんなの」という言葉は、スペースにかかるように持っていきたかったのです。ですから、1案の「みんなの広場が」が良く聞こえたのですね。「ほっと」と「スペース」というのが良い感じがしました。つまり、1案か3案がよろしいのではないかとこの意見です。

**【会長】**

1案をベースとして、広場という所が「ほっと」という言葉を上手く転用できたらよいのでは、というご意見でした。

**【委員】**

「みんなの」を「スペース」のほうへかけて、全ての世代に渡るものだという、皆様の建物だという印象に持っていきたいです。

**【会長】**

誰も拒まないという意味での「みんな」という言葉を、「スペース」にかけたいということですね。「いきいきあんしん」という言葉を使っているのですが、やはり先行イメージというものもあるのだと思いますので、そういうことであれば、あえて先行イメージをなくして、ニュートラルな、誰でも、というイメージを持つようにしたいというご意見でした。

**【委員】**

皆さんの意見を聞いていて、どれも良いなという印象なのですが、やはりシンプルなところで、言っている言葉自体の意味が同じような感じなので、覚えやすいとかシンプルさということで、私も1案か3案がよろしいと思います。

**【委員】**

私も皆さんの意見は同感でございます。どちらかと言うと、3寄りの1案か3案です。

**【会長】**

「みんな」という言葉をどちらにかけるか、という点は、結構大きな問題のように思います。そうすると、ただいまのご発言は「みんな」を「笑顔」にかけたほうが良いということですね。

事務局案も1案か3案か、というご説明でしたし、委員の皆様からもやはり1案か3案ということですが、無理に多数決を取るという話でもないように思います。ここから先はいかがいたしますか。もう少し絞ったほうがよろしいでしょうか。

**(事務局)**

私どもとしましても、皆さんからご意見いただいたように、シンプルなほうが、コンセプトとしては良いのではないかとこのころはあります。最終的に1案と3案の平仮名で始まったほうが柔らかく見えるかなという感じがしまして、1か3かなというところです。皆さんのご意見を伺いますと、ここにいらっしゃったから笑顔になれる所なので、ということも思っています。冒頭に申し上げたように、持ち帰り、アンケート調査含め皆さんの意見ということで、最終的に検討させていただきたいと思います。もし皆さんのほうで、一本化して持ち帰ってもらいたいということであれば、どちらかに決めていただいても構いませんし、もしくは甲乙つけがたいということであれば、このまま終わっていただいても構いません。

**【会長】**

では、ここで皆さんのご意見を伺うことにしたいと思います。ご出席の委員の皆様方のご意見となりますが、今1案か3案かという話になっておりますが、本懇談会の案としては、1案もしくは3案という結論をお伝えする形をとるか、1案はこういう思いで1案です、3案はこういう思いで3案です、という経過により2案に絞る形での最終案にするか、いずれかといたします。これは挙手でよろしいですか。

**【委員】**

私はこれ決めなくても良いと思います。持ち帰っていただいて、みんなの話を聞いて

いただいたほうが良いのではないのでしょうか。

#### 【会長】

そうですね。6案が出た中で2案に絞りましたし、それぞれ絞った時の思いは、いま皆様からのご意見を賜りましたので、この2案が良いのではないかとということとし、あとは事務局でご検討いただくということでもよろしいですか。結論が出ないという形にはなっていますが、私もそのほうが良いかと思えます。

今回も大事な意見を皆様から頂戴いたしましたので、懇談会で皆様のご発言されたご意見として是非載せてください。お願いします。

コンセプトは一応決着を見ましたので、次に資料1の基本計画(案)の全体について、何か気になる点がございましたら、ご意見賜りたいと思います。どなたからでも結構です。いかがでしょうか。

#### 【委員】

39ページの機能の種類の中で、今後はコロナ後の社会を見据えた施設の中身を検討していきたいという話でしたが、民間機能は実際にコロナがなくても、なかなかこういう所に入りにくいのではないかと、思っているのですが。

#### (事務局)

営業活動ができなかった、というような背景はございます。4～5月、ある程度リストアップして営業をかける、ということがなかなかできなかったというようなことで、緊急事態宣言は解除されたのですが、今現在もなかなかまだ県を跨いで移動することは厳しいというふうなところがあります。ただ、懇談会での皆さんの意見、アンケート調査、庁内での議論、そういったものを積み重ねていくと、理想・目標として、特徴としてこういうものが望ましいということで、その上で相乗効果が期待できる民間の機能というふうなことで入れてあります。これも注釈で39ページの最後の所に書いてあるのですが、必要となる諸室や面積については、基本設計で詳細な検討を行います、というような注釈を付けています。今後それぞれの機能を設計していく中では、そこは増減ということもありますので、一旦こちらのほうで規模の想定をしておいて、その代わり注釈を付けて、基本設計の段階で検討していきます。その段階では、民間機能というものは、ある程度、明らかになってしかるべきだと思いますので、そうした時に、基本設計の中でも、市民の代表の方に見せて、関係する団体へのヒアリングも含めて、意見を取り入れていきますので、基本計画の段階ではこういう形でご提案となります。

#### 【委員】

ありがとうございます。

**【委員】**

いま災害が発生しているから言うわけではないのですが、特に4ページのハザードマップには、この施設については何もマークがないですが、今どれも想定されて建てられたものでも、1階部分が水に浸かったりするのでは、やはりその辺はどのようにお考えなのでしょうか。

**(事務局)**

こちらのハザードマップですが、災害が頻発しておりまして、県のほうで見直しまして、最新のものにしております。申し上げたように、災害があった今回の熊本や九州の大雨も、想定を超えるような雨が降っているのでは、それが完全かどうかは分かりませんが、現状、公に示されているハザードマップとなっております。

**【委員】**

私の兄弟が東京で、昨年、水害のあった場所において、その1つのビルの中で、いわゆる急な場合の防護壁みたいなものを活用して、片方は1階部分が水没、片方は免れた、というような事例が、実際にありました。なので、そのような水害のための何か、というものも情報を取り入れていただければ、川のそばで、私たちも川のそばにおいて、過去にそういうこともあったので、あくまでも想定を超えないようなものでなければいいなと思うのですが、想定というものは怪しくなってきたので申し上げました。

**(事務局)**

最新の情報で、建物を建てる段階では万が一を想定しており、水害が起きた場合というのでも検討していく必要はあるかと思っておりますので、今後、設計をするうえでは、やはりそういう機能も検討していきたいと思っております。

**【会長】**

おそらく気候が変わっておりますので、想定外があたり前になっているということですね。去年は大丈夫だったとしても、また大きな台風が来た時にどうなるかについて、市民は非常に心配されていると思いますので、それを新しく造る建物で、市役所の隣ということも含めて、市民にきちんと伝えるという役割もおそらくあると思います。今日のNHKニュースで、高齢者が自力で2階に上がれるようにスロープを付けて、何かあったらその2階で集えるようにと、普段はその場所をコミュニティの場にして使うという、普段歩いている道が避難所になれば、避難時に迷わなくて済むようにする、という話が紹介されておりました。この施設が避難所になるかはまた別の話となりますが、おそらくそういうことも含めて考えてほしい、という委員のご意見だったと思います。

**【委員】**

1点質問と1点個人的な意見なのですが、49ページの施設ごとの図面で、ピンク色の部分に書いてあるのは、今回の事業に関わるもので、これは実施する計画なのですか。例えば駐車場の40台、35台、あと市役所の後ろに立体駐車場が書いてあるのですが、これは実施する計画ということで見ればいいですか。

**(事務局)**

あくまでも複合施設の整備と併せて整備をするという考え方で、複合施設を建設することが前提になっております。

**【委員】**

それができてくれば、これも併せて整備するということですか。

**(事務局)**

はい。

**【委員】**

あと1点、個人的な意見なのですが、最後の55ページは、何となくこの部分は必要なのかと感じました。事業施工まで大々的に必要なのか、逆に事業手法が決まっているのであれば、例えばこの計画に関してはこの手法で行う、ということがあればいいのですが、これはその計画の中に、色々な手法を載せる必要がなぜあるのかよく分かりません。決まっていなくて、ここで検討しております、というのをここに書いても、どうなのかなということを違和感として感じています。

**【会長】**

他にいかがでしょうか。何かお気づきの点がございましたらお願いします。最初にお話がありましたように、本日提示している内容にプラスアルファで、今後ウィズコロナに向けて、どのように市として対応しなければいけないか、ということも盛り込んだ内容になりますので、もう一回見るチャンスはあると思うのですが、この時点で何かお気づきの点があればお願いいたします。いかがでしょうか。

**【委員】**

職業柄の情報で、国交省の災害対策ということで、郡山市と福島市といわき市の3箇所に備蓄倉庫ができるそうです。そうすると、いわゆる私たちの住む県南エリアは、備蓄に関する色々な災害に対する国のそういう部分は、やや遠くなると感じますし、災害用のアルファ米とお水と、コロナ対策に対する何かということで、施設的に余裕があれ

ば、この民間部分の1つには、そういう災害備蓄的なところの要素というの、1つ考えてもいいのではないかと思います。震災の時に玄米もらっても仕方ないことが分かったので、今度アルファ米になったからって、たいして変わらないのですよね。ライフラインが寸断された時に、玄米配られても仕方ないと思います。ですから、今回政府の方針も変わって、アルファ米という専門的なものになったけど、ライフラインが止まったらどうしようもありません。最終的にレトルトになっているはずなのですね。そのように加熱しなくても食べられるものになっているのですが、そういった災害に対する備蓄という部分の何かにも、転用してもいいのかなと思います。

#### 【会長】

分かりました。防災拠点を置くことになり、その絵もありますが、ここに無くても、別の所と連携させるなど、そういうことも含めた市としての対応について、備蓄という面でも検討すべきというご意見でした。

#### （事務局）

災害の担当部署のほうで、備蓄の必要性は当然考えております。今回の計画の中では記載してございませんが、本庁舎と複合施設の整備の中で、スペースに余裕があれば備蓄機能の設置も考えております。以前に委員のほうからも、マスクなどの感染症対策に関して意見を頂戴しておりますので、今回コロナなどの感染症対策の検討も含めて、施設整備を進めていきます。去年の台風19号で申し上げますと、実は食料などの備蓄はあったのですが、表郷の避難所に届けられなかったということもございました。それを考慮すると、分散して備蓄をすることも検討した上で、どういう形で進めていくのがいいのかというのは、災害の担当部署の意見を聞きながら、もし本庁舎と複合施設の中に必要だということであれば検討していきたいと思っております。

#### 【委員】

施設の名称は決まっているのでしょうか。

#### （事務局）

複合施設の入る具体的な施設が決まってきたら、正式名称とか、場合によっては愛称を決めていきたいと思っております。

#### 【会長】

当初そのコンセプトを考える際に、白河市では公共施設に愛称が付いているケースが多かったものですから、皆さんからご発言をいただきましたが、事務局としては時期尚早だということで、改めて必ずそういう機会は来ると思っております。

私は白河市民ではないのですが、コロナ禍の状況では、やはりオンラインとか、その場所に行かなくても繋がるのが、かなり重要になってきていると思います。おそらく今まではその場所に行かないと受けられなかった市民サービスが、そうでない形でサービスを提供しなければいけないというように、市役所のサービスの仕方も変わるとでしょうし、市民側でも自分がどういうサービスを受けるか、という感覚も変わってくると思います。ウィズコロナがどういう状況かは、まだ具体的に何も出ていませんが、ワクチンが出るまでは、そういうことを考えて生きていく時期が続くと思いますので、そういう意味で公共施設の在り方、そして笑顔がつながるとか、みんなの場所という考え方が、もしかしたら変わるかもしれない、と思われまますので、次回どのような内容が付加されるのか、大変楽しみに期待したいと思っております。

#### **【委員】**

今のオンラインサービスに通ずるところですが、オンラインサービスをするにあたって、個人情報の取り扱いという意味では、個室で市役所の職員がオンラインで対応できるといったスペースも、必要になってくるのかなと思うと、こういう会議室だけではなくて、個室という点も考えながら、施設づくりをしていかなければいけないのかなと思います。対面で個室、というスペースも必要かと思いますが、職員がパソコンに向かって、ということになると、それはそれでまたそういったスペースも必要になってくるのかな、というふうに感じています。

#### **(事務局)**

おっしゃるとおりで、実はこの前も内部で話していたのですが、この計画が始まった頃には、相談できる部屋がたくさん必要だということで、子育ての関係で、ウィズコロナに対応する部屋も必要だという意見がありました。ただ、個室の狭い所で密を作るのは違うかなというのも出まして、まさに委員がおっしゃったことも必要ですし、場合によっては建物のスペースの使い方自体も、少し見直さなければいけないというような意見もあります。オンラインでつながることと、一方では、安全に配慮しながら繋がる場というのが、やはり引き続き必要だろうということがありまして、限られたスペースでなかなか難しいところはあるのですが、おっしゃるように、オンラインでお客様の対応をするスペースも必要だと感じています。

#### **【会長】**

ずっとステイホームでいるという状況ではないと思いますが、今まで以上に外出することが、かなり目的を持って外出をする、という状況になるでしょう。そういう意味で、目的を持ってここに集まってもらう、そして帰る時には笑顔になる、是非そういう施設であってほしいと思っています。

他にご意見ございますか。よろしいですか。特に今日ご意見が無いということであれば、皆様から頂戴しましたご意見、そして最初に事務局から説明のありました、コロナ関連事項を踏まえて、事務局において整理検討の上、次回、第6回懇談会で整備基本計画の修正案をお示しいただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。では、その他について、事務局から連絡事項がございましたら、お願いします。

#### **(事務局)**

次回の懇談会なのですけども、まだ期日は決まっておりませんが、コロナ関連の中身を踏まえまして、開催が決定次第、できるだけ皆様に早くお伝えしたいと思います。残り2回の開催を予定しておりますが、早くて次に8月下旬、その後が11・12月になる場合も考えられます。皆様の各団体から推薦して出てください、今回参加していただいている方が大部分ですが、この中には現在の肩書が外れている方もいると思います。できればこれまでの経緯もありますので、出ている方の肩書がなくなっても、このまま引き続きお願いしたいのですが、どうしても抜けなくてはいけないとか、そういったものがある場合には、推薦団体とお話した上で、調整させていただいて、新たな方をご案内いただきたいと思っておりますが、これで5回進めてきましたので、引き続きお願いしたいと思いますので、ご協力をお願いします。

#### **【会長】**

あと2回程度ということですので、できましたら同じメンバーで、ということで私のほうからも、ぜひ皆様をお願いしたいと思っております。よろしくをお願いします。

では、本日予定されていた議事が全て終了いたしましたので、事務局のほうにお返しいたします。ありがとうございました。

#### **(事務局)**

以上をもちまして、第5回白河市複合施設整備基本計画検討懇談会を閉会したいと思います。委員の皆様には長時間に渡り、ありがとうございました。